

## 瀬目トンネル問題年表

平成 7 年 3 月 長さ 695m 幅 6.5m 高さ 4.5m 戸田建設

平成 12 年 10 月 側壁の剥離

◆基本的な対策のないまま、応急措置的な工事で誤魔化していた◆

平成 16 年 ? 月 手渡す会メンバー 側壁の崩壊問題を取り上げる

松本幡朗博士とトンネル調査

週刊ひとよし 瀬目トンネル問題取り上げる

平成 17 年 ? 月 トンネルの側壁の変状記録をペンキで消してしまった。

平成 17 年 4 月 県議会

平成 17 年 5 月 国会議員視察

平成 17 年 ? 月 国・県共同で瀬目トンネル変状は解消したという説明会

平成 17 年 6 月 瀬目トンネル検討委員会開始

設計と施工は間違いなし

調査は十分・トンネル計画は妥当

✦以上 3 点にわたる評価は、なんたる評価か✦

トンネルの変状 地盤の動きがその原因、変状の進行は  
落ち着いているように見えるが進行して  
いると考えるべき

雨が主要因ではなく、山自体が等速運動

クラック発生要因 地すべりの動きによる

山側から谷側に押されている。周辺の  
土塊の動きによる。

トンネル周辺の地質調査 地盤変動の兆候が確認

変状原因 地盤の変動とトンネルの変状は関連性がある

◆なんのための約 5 年間もかけた二つの委員会だったのか？

平成 21 年 8 月 18 日 瀬目トンネル検討委員会・地盤検討委員会

合同現地調査 とりまとめ

トンネル内で発生している亀裂は、トンネルの  
一部が地すべり面の影響を受けていることが原  
因である可能性が高いことを確認

水抜き対策も試みられてきたものの十分な効果  
がえられていない。今後、より効果的な水抜き  
対策を実施し、効果が得られない場合には新たな  
対策を検討する。

平成 23 年現在

より効果的な水抜き対策の効果なし